

学生研究補助（インターン）を募集している研究プロジェクト

プロジェクト名	科学技術イノベーション政策の経済社会的効果測定指標の開発
専門性	情報工学、計量書誌学、経済学、経営学
内容	<p>科学技術イノベーション政策の経済社会的効果の解明を進めるためのデータ分析</p> <p>1. プロジェクトの概要</p> <p>政策分析・影響評価PJでは、科学技術の変遷および政策の変遷を把握し、それらの情報をマッピングすることで、科学技術およびその政策が新製品や新サービスとして具現化されるイノベーションにどのような影響を与えたのか定量的に解析することを目指しています。</p> <p>2. インターンの業務内容</p> <p>本研究では、(1) JST 研究開発戦略センター研究開発戦略センターがこれまでに実施してきた科学技術課題の調査、(2) NISTEP 科学技術動向研究センターが実施してきた科学技術予測調査、(3) 特許および論文書誌情報データベース (PATSTAT、Web of Knowledge、Scopus など)、(4) 新製品や新サービスに関わるプレスリリース情報等のデータベース、(5) 産業連関表や労働・資本などの経済データを接合することにより、個々の科学技術がどのようなアウトプットを生み出したのか、その際、政策的な資源投入あるいは制度変更がどのような影響を与えたのかを明らかにします。インターン生には (A) データベースの接合および名寄せ手法の開発・検討、(B) データベースを活用した経済分析モデルの開発、(C) 定例ミーティングへの参加等の業務に関わって頂きます。</p>
業務に必要なスキル	<ul style="list-style-type: none"> 定量分析の経験 (R、Stata、EViews など) プログラミング言語 (Python、Java、Ruby、C、Fortran など)
身につく知識・スキル・経験	<ul style="list-style-type: none"> 多変量解析や統計分析に関する知識と実務経験 (いわゆる「データサイエンティスト」として一般に求められる能力) プログラミング言語 (Python 等) や統計ソフト (R、Stata など) を実業務に活用する知識と経験 大量のテキストデータ (いわゆる「ビッグデータ」) を活用する経験 科学技術イノベーション政策に関わる研究者・行政官、その他関係者との人的ネットワーク

プロジェクト名	政策形成のフレーミング、ステークホルダー分析、プロセスの構築を通じた政策形成プロセスの改善手法の開発
専門性	政治学・行政学・政策学

内容	<p>政策形成の過程やステークホルダーに関する分析を通して、有効な政策案を実施するため必要な要素を探求していただきます。</p> <p>1. プロジェクトの概要</p> <p>科学技術イノベーション政策研究センターの政策形成プロセス実践領域では、政策形成プロセスを対象とした研究を行うことで、その政策が成功または失敗した原因を探り、有効な政策案を実際に実施するためにどのような要素が必要かを探求しています。</p> <p>2. インターンの業務内容</p> <p>現在、研究チームでは科学技術イノベーションに関わる諸政策についてケーススタディを実施しており、学生の方には、先行研究の調査、審議会の議事録分析、インタビュー調査、社会調査の設計と分析、事例の提案及びプロジェクトの運営補助等に関わっていただきます。</p> <p>3. 留意事項</p> <p>特にありません。政策に関する研究と、実際の政策形成における課題を結びつけるということについて考えるきっかけとしてもらえればと思います。</p>
業務に必要な知識・スキル	特になし
業務を通じて得られる知見、スキル等	<ul style="list-style-type: none"> 政策過程研究に関する知識や経験 研究を進めるためのマネジメント能力 研究者、政策間担当者、関係者との人的ネットワークなど

プロジェクト名	イノベーションシステムを推進する公的研究機関の制度的課題の特定と改善
専門性	特に問わないが、科学技術イノベーション政策、高等教育政策、科学計量学（軽量書誌学）に関する知識があると尚可。
内容	<p>1. プロジェクトの概要</p> <p>本プロジェクトは、科学技術イノベーションを推進する主体の一つである大学や公的研究機関のマネジメントの改善に資するマネジメントスコアボード等の構築に向けた調査研究を実施し、諸外国の大学の戦略計画（Strategic Plan）の事例集積、政策や学内施策による研究活動・成果への効果の分析、国内大学の各種データの分析等を通じて大学・公的研究機関の経営を支援することを目指しており、以下の二つの研究課題を進めている。</p> <p>A) 諸外国のトップ研究大学の戦略計画の分析と効果</p> <p>諸外国の主要研究大学の戦略計画（Strategic Plan）に着目した上で、各研究大学の戦略的目標（Goals）、戦略（Actions）、指標（Indicators）の内容を分析し、トップ研究大学が如何なる『目標』、『戦略』、『指標』を設定し経営をしているのか、そこに共通性や多様性が見られるのか分析を行っている。具体的には、米国・英国のトップ研究大学が独自に発行した戦略計画（Strategic Plan）、日本の国立大学の中期目標計画、戦略計画を収集とテキストデータ化を行い、分析を実施している。</p>

	<p>また、学際研究促進方策に焦点をおき、学内での方策や国の大学政策・科学技術政策が、各種の学際的研究活動に及ぼしているかの実証的分析を行っている。</p> <p>B) 国立大学法人等のデータを利用した大学経営に関わる指標の分析</p> <p>上記戦略計画のテキスト分析を踏まえた上で、大学改革支援・学位授与機構との共同研究のもと、我が国の国立大学法人の実態を各種指標に基づき把握する。また、当該データの大学経営に関わる指標策定への利用可能性を検討し、「マネジメントスコアボード」等のデータ基盤の構築に向けた基礎的な調査研究を行う。</p> <p>2. インターンの業務内容</p> <p>インターンでは、1) 諸外国の大学の戦略計画や財務データの分析等の研究業務を通じた、日本の高等教育政策・大学経営において必要な課題の探求、2) 学際研究などの特定の戦略課題に焦点をおいたアンケート調査、論文データ、研究者のCV等の多面的な分析、3) 大学等の教育・研究・財務データによる大学の特性把握のための分析や戦略指標の設定にかかる研究、4) 海外大学の戦略や政策に関する論文・ニュース記事等の翻訳補助、の何れかを1つ以上行っていただくことを予定しています。業務内容については、個々の関心に応じて相談させていただきます。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日本、イギリス、アメリカの大学の戦略計画に関するテキストデータの整理・分析。 • 論文データベースに基づく学際研究の分析と大学の戦略・国の政策との関係の分析 • 日本の国立大学の各種データ・指標に関する経時的分析 • 高等教育政策、大学マネジメントに関連する先行文献、海外情報の収集・整理。 • 海外大学の戦略や政策に関する論文・ニュース記事等の翻訳補助。 <p>3. 留意事項</p> <p>高等教育政策、科学技術政策、大学マネジメント等に関心を持っていることが望ましい。</p>
<p>業務に必要な知識・スキル</p>	<p>特に問わないが、統計ソフト（R、SPSS、Stata等）を利用した基本的な統計分析に関する経験や、Pythonなどのプログラム言語の知識、論文データの分析経験、英語力（英文の和訳能力）のいずれか1つ以上があると尚可。</p>
<p>業務を通じて得られる知見、スキル等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 各国の高等教育政策、科学技術イノベーション政策、大学評価、大学経営に関する知識 • 日本の大学や公的研究機関の現状に関する知識 • 統計分析、テキスト分析の経験

<p>プロジェクト名</p>	<p>科学技術イノベーションと社会に関する測定</p>
----------------	-----------------------------

<p>専門性</p>	<p>特に問わないが、科学技術イノベーション政策、科学技術社会論または社会調査に関する知識があると尚可。</p>
<p>内容</p>	<p>1. プロジェクトの概要</p> <p>科学技術イノベーション政策は、成果達成までの道筋が中長期に亘り不確実性が高いことから、他の政策分野以上に、政策効果の把握には困難な問題が伴うことが知られています。特に、科学技術の社会受容性や、科学技術が社会に及ぼす有形無形の幅広いインパクトの把握は、長年の課題となっています。</p> <p>本プロジェクトは、上記のような科学技術イノベーション政策の特質と、現実の政策形成への適応の実情を踏まえた上で、より幅広い視野に基づき、科学技術イノベーション政策のモニタリング及び改善のための指標開発を行なうことを目的としています。特に、科学技術イノベーションの文化的要素・土壌の可視化、科学と社会の望ましい関係性構築に資する指標開発、科学技術分野へのキャリアパスや科学リテラシーの向上の決定要因分析等、新たな指標開発とそのための基盤整備に取り組んでいます。</p> <p>より具体的には、次のような内容になります。</p> <p><u>①科学技術イノベーションと社会に関する可視化や指標案作成：</u></p> <p>科学技術イノベーションと社会に関する適切な政策のあり方を提言するため、関連政策のモニタリング、効果測定の方法、カギとなる指標の検討・収集を行なっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究者や政策担当者とともに指標案について検討するワークショップ・勉強会の開催 ・国内外の関連政策及び研究動向の把握、体系的整理 ・国内外の関連調査（※）の収集及びデータベース化 <p>※国内外の個人または組織を対象とした、科学技術イノベーションに関する知識、理解、関心の度合い、信頼度、受容度、コミュニケーション、参加の度合い等についての調査（世論調査等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学技術イノベーションの文化的要素・土壌についての分析（マイクロデータ分析、テキスト分析、コンテンツ分析、可視化分析等） <p><u>②国際共同調査 MORE-PE: Mobilization of Resources for Public Engagement with science and technology（科学技術に関するコミュニケーション活動の実態及び文化についての全国調査）：</u></p> <p>大学等研究機関が、一般市民等の非専門家とどのようなコミュニケーションを取っているのかに関する国際共同調査に参加しています。（参照：more-pe.com）</p> <p><u>③科学技術分野へのキャリアパスや科学リテラシーの向上の決定要因に関するマイクロデータ分析：</u></p> <p>国際数学・理科教育動向調査（TIMSS）、OECD 生徒の学習到達度調査（PISA）、国際成人力調査（PIAAC）、高校生の進路追跡調査などのマイク</p>

	<p>ロデータを用いて、個人、家族、教育、社会などの潜在的要因が与える影響を定量的に分析しています。</p> <p>2. インターンの業務内容</p> <p>上記①～③に関する調査業務を補佐するインターンを募集いたします。応募者の興味関心、専門分野に応じて、テーマを定めてプロジェクトへ貢献して頂くことを想定しています。定量分析にかかわらず、ワークショップの資料準備・議論のまとめ、概念整理、政策情報の収集等の定性的な業務も含めた幅広い調査業務を行なっています。必要に応じて研究会へ参加頂き、議論に参加頂くことも想定しています。</p> <p>上記①～③のうち、どれを希望するか明記の上、ご応募下さい。</p>
業務に必要な知識・スキル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定量分析を行なう場合、統計ソフト（R 等）、データベース（Access、SQL 等）、テキスト分析、Web スクレイピング技術のいずれかに関する知識・経験があると尚可。 ・ 国際共同調査や海外の政策及び研究動向の把握を行なう場合、英語での情報収集が必須。
業務を通じて得られる知見、スキル等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会調査等を用いた定量分析の経験 ・ 科学技術と社会の分野の海外の政策及び研究動向の知識 ・ 科学技術イノベーション政策に関わる研究者・行政官、その他関係者との人的ネットワーク

プロジェクト名	国家的課題に対応した戦略的政策シナリオ及びその作成手法の開発
専門性	特に問わないが、Inclusive Innovation や SDGs に関心のある方を歓迎します。
内容	<p>1. プロジェクトの概要</p> <p>国内外の政策や研究動向を踏まえつつ、国家的課題として潜在的な政策ニーズが存在し、府省の壁を越えた連携・取組が求められるような政策課題について、我が国としての取組の方向性や課題を明らかにし、政策シナリオやオプションとして行政担当者へ提案する。</p> <p>今年度の主要なテーマは、「Inclusive Innovation と SDGs」</p> <p>発展途上国を中心に活発な議論が行われている“ Inclusive Innovation ”に着目し、当該概念の持つ意味を整理すると同時に我が国における Inclusive Innovation の具体的事例を調査する。国連の SDGs が掲げる持続可能な社会の実現にむけて、Inclusive Innovation の持つ可能性について検討する。</p> <p>2. インターンの業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Inclusive Innovation に関する先行文献検索及び文献レビューの作成、整理。 ・ 日本の Inclusive Innovation の事例収集、事例の書き起こし。

業務に必要な知識・スキル	英語文献の読解力とレビューの作成能力
業務を通じて得られる知見、スキル等	<ul style="list-style-type: none">• SDGs、 Inclusive Innovation に関する知識。• Inclusive Innovation を行っている企業、団体とのネットワーク。